

刻む会 たより

No. 25

2002.11.29

長生炭鉱の“水非常”を

歴史に刻む会

代表 山口武信

宇部市常磐町一―一九

TEL 〇八二六(二二) 八〇〇三

二〇〇三年度 遺族招へい
追悼式のご案内とカンパの
お願い

島 敬史

一九四二年二月三日、西
岐波の長生炭鉱で水非常（改
訂炭鉱の水没事故）が起こ
ってから六〇年が経過しま
した。この事故で一瞬のう
ちに一八三名のうち強制連
行された朝鮮人が一三五名
の生命が奪われ、遺体は
今日もなお海の底に眠って
います。
私達は、①この歴史的事
実を調査して記録として残

すこと ②現存するピーヤ
を保存すること ③犠牲者
の実名を記した追悼碑を建
てることを目標にかかげて
運動を続けてきました。が、
同時に一九九二年二月から
韓国在住の遺族の方を招い
てピーヤの見える現地で追
悼式を行って参りました。
これ迄一回、多くの皆様
の方の支援によってこのこと
が続けられてきたことを、
ここに心から感謝してお礼
申し上げます。
韓国から一〇名程の遺族を
お招きして二月八日（土）

午後一時三〇分から、第一
二回目の追悼式を行うこと
にしております。御多忙と
は存じますが、是非御参集
下さり、遺族と共に海底に
眠る犠牲者を追悼して頂け
れば幸いです。
また、一〇名の御遺族を
お招きするため、約一〇
〇万円程度の費用が必要と
なります。私達の運動をさ
らに御支援下さり、カンパ
をお寄せ頂きたくお願いを
申し上げます。

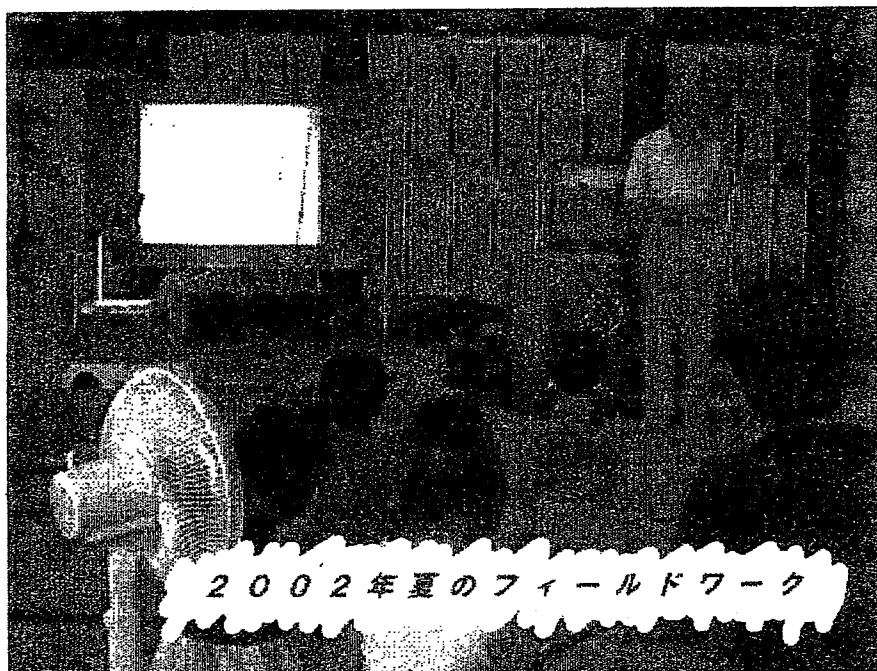


朝、木村さんを迎えに行つて、九時半頃会場の防府市文化福祉会館に着いた。初めての会場なのでどちらが正面か判りにくかった。会場は二階だったが、少々まごつきながらやつと辿り着いた。階上では木村さんとの別れさせられて講師などの部屋で暫く待たされた。一〇時から全体会があり、正午まで四国から部落解放、人権研究所の川口泰司氏の講演があった。若いが大変元気の良い巧みな話しで口で人を外らない。講演の題名は「たいけん↓発見↓ほとけん」で差別つて、少

いこと、時には差別される側から逆差別することがあるのではないか、そして「共感していく豊かな心」について金子みすずの「大漁」の詩の鯛の大漁で、鯛たちは何万もの弔いをするだろうという話などを語ら



れた。続いて、五〇分間を与えられて「長生炭鉱の水非常」について山口が話した。戦時下水非常に至までの「募集」という強制連行の経過や、職場である坑内での労働条件など、一九四二年二月三日朝の水非常について、一八三名の犠牲者と、その内一三七名の朝鮮人抗夫らの死亡とその状況、その補償と遺族への対応、宇部における他の水非常に対する炭鉱の対処のあり方との比較、「長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会」の発足と活動、犠牲者の本名を刻んだ碑の建立とピーヤの保存、真実を明らかにする証言と資料の収集などのことと話をした。何人でもよい、刻む会に対する理解が進むことなら何でも、どこへでも出向かねばならないと思



2002年夏のフィールドワーク

う。
※なお、山口会長の講演につきましては、ビデオがありますので、御覧になりたい方は、事務局までご連絡下さい。

以上

過酷な労働実態の学習やピーヤ献花

28日に長生炭鉱フィールドワーク
200人近い水没死亡者を出した長生炭鉱水没事件の悲惨な事実を市民に知ってもらおうと、「海に沈んだ炭鉱」フィールドワークは、28日午後一時半から西岐波区向

坂の西光寺と事故のあった長生海岸で開かれる。長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会（山口武信代表）主催。ウベニチ新聞社など後援。

水没事故は1942年（昭和17年）2月3日、海岸から約1km沖合の坑道で発生。日本の植民地だった朝鮮半島から強制連行された朝鮮人134人を含む183人の命が失われた。遺族には何も補償されていないうえ、遺体は1人として引き揚

げられておらず、西光寺に位はいが残っている。

同日は、同寺で位はいと対面したあと、会員らが作製した紙芝居「アボジ（お父さん）は海の底」で、朝鮮人がどのようにに連行され、いかに厳しい状況下で働いていたかを学習。炭鉱の説明もあり、同海岸では事故を物語るピーヤ（排気塔）

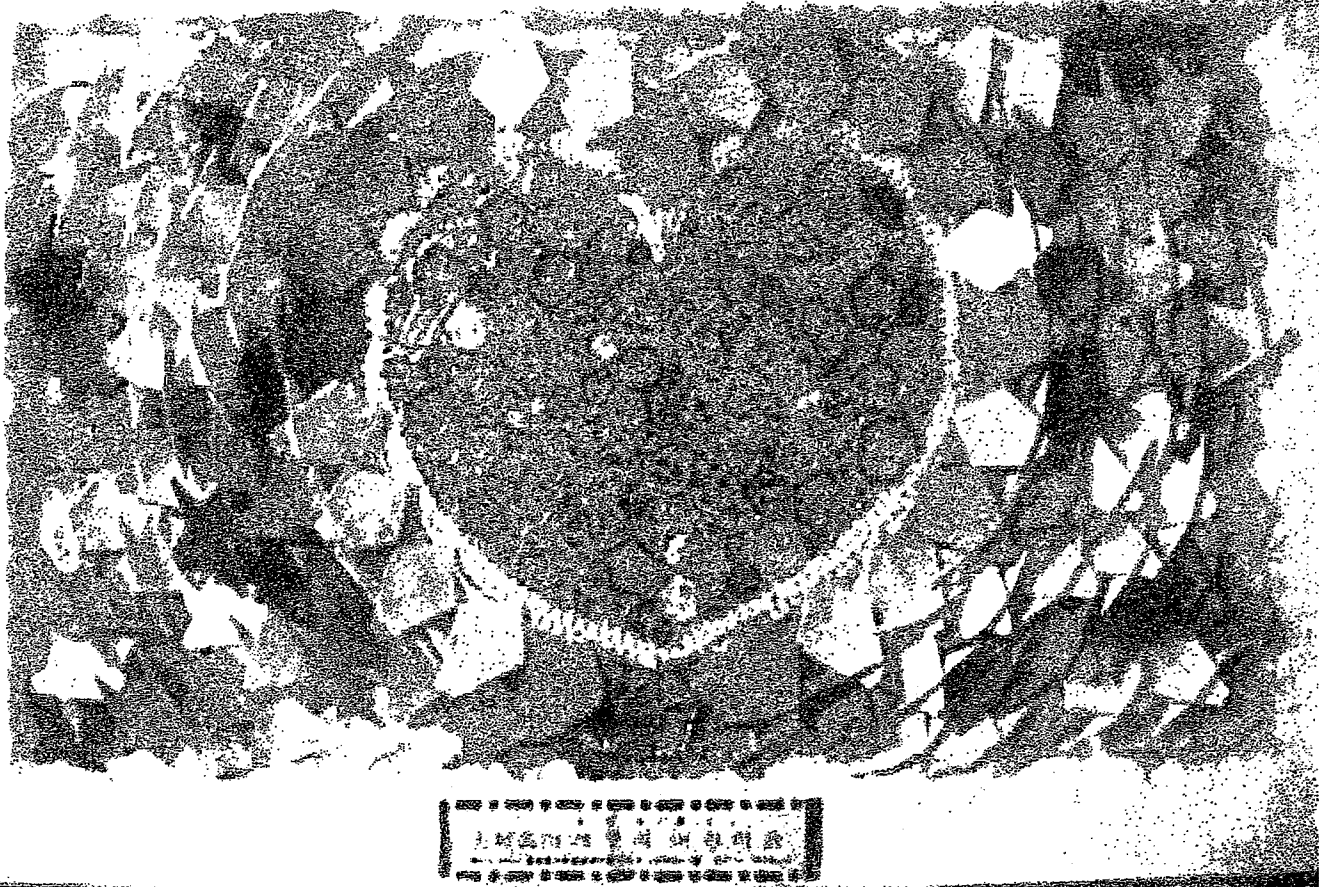
に向けて献花する。

同会は市民にほとんど知られていないこの事故を正しく受けとめ、より多くの市民に知ってもらおうと91年に設立。フィールドワークのほか、2月には遺族の追跡調査の結果、結成された犠牲者遺族会を招き、追悼式を行っている。

七月 二十四日

うんこ

子ども達の参加も多く、充実したものとなりました。



大和高田市のケグリ・オリニ会からステキなフリーストをお送り頂きました。

初めてお便りをします。私は、奈良県大和高田市で大和高田ケグリ・オリニ会という活動をしている在日韓国・朝鮮人2・5世のキム・カンチヤ（金康子）と申します。

当会では、日帝植民地支配による朝鮮人犠牲者の事を知り、共に考え、行こうと、子ども達と一緒に、折り亀を折ったり、フリーストにハングル文字で慰霊の言葉を書いたりして、慰霊碑や資料館等におくっています。

貴会のパンフがある所で入手し、長生炭鉱の“水非常”のことで知り、勝手ながら、遺族会事務局、あるいは位牌のある西光寺に供えていただければと思い、送らせて頂きました。

※ケグリとは「蛙」、オリニとは「子ども」という意味だそうです。